

# 1年間の生徒指導に関するチェックシート

西部教育事務所

今年度、西部教育事務所では、「自他のよさを認め、仲間を支える心を育む生徒指導の充実」をお願いしてきました。授業や学校生活の中で、児童生徒は、自己有用感を味わうことができたでしょうか。また、困っている友達に声をかけ、仲間を支え合う学級・学校風土が育まれてきたでしょうか。今年度の取組について振り返り、来年度の準備につなげていきましょう。



## 今年度の振り返り

A：十分できている B：おおむねできている C：改善が必要である

項目	No	内 容	評 価 (○を付ける)
学級経営・ 教科経営	1	生徒指導の3つの機能（自己決定、共感的人間関係、自己存在感）を生かした授業や学級経営を 実践できた。	A・B・C
	2	互いのよさや違いを認め合う場を意図的に設定し、所属感や連帯感をもてるような学級集団づく りを進められた。	A・B・C
組織的な 支援体制	3	いじめ、不登校、問題行動等に対し、全職員の共通理解のもと、役割を分担し、組織的・継続 的な指導ができた。	A・B・C
	4	児童生徒の実態に応じて、保護者やSC、SSW、関係機関（適応指導教室、児童相談所、民生 委員等）と連携を取り合って支援を進めることができた。	A・B・C
	5	生徒指導関係の研修や通知・配付資料等を生かして、学校全体の生徒指導力が向上した。	A・B・C
いじめ	6	法律上のいじめの定義を確認し、いじめの芽や兆候についても認知し、適切な対応を行うことが できた。	A・B・C
不登校	7	休み始めの電話連絡や家庭訪問を行ったり、校内に相談しやすい居場所を設けたりするなど、登 校しやすい環境づくりを進めることができた。	A・B・C
問題行動	8	問題行動が起きたとき、児童生徒の行為に対する指導だけでなく、その背景にある環境や要因に 目を向け、児童生徒の心に寄り添った指導・支援ができた。	A・B・C

## 次年度の準備

(年間指導計画や学校行事などに以下のような場面が設定されているかチェックしてみましょう。)

学級経営・ 教科経営	9	輪番制の計画委員会を中心とした学級活動や、児童生徒の自発的、自治的な活動を取り入れた委員 会活動を進めるための準備。	A・B・C
	10	児童生徒の望ましい人間関係づくりに向けて、構成的グループエンカウンターや自分の気持ちを コントロールする学習などを計画的に取り入れる準備。	A・B・C
	11	児童生徒自身が困った時や困っている友達に気付いた時、どのように行動すれば良いのかなど、 SOSの出し方や受け止め方を考える場面を計画的に取り入れる準備。	A・B・C
	12	学習ルールや集団生活のマナーの大切さについて、児童生徒とともに考える場や機会を計画的 に取り入れる準備。	A・B・C
いじめ	13	いじめの未然防止に向けて、いじめについて考える場面を計画的に取り入れる準備。	A・B・C
	14	自校の学校いじめ防止基本方針のいじめの定義についてや重大事態に対する対応についてなどが 適切かどうか見直すこと。	A・B・C
不登校	15	学校間や学年間で、不登校に関する児童生徒の情報（全欠、適応指導教室などへの登校、別室登 校、不登校が心配な児童生徒など）を共有し、校内の支援体制を整える準備。	A・B・C
問題行動	16	インターネット端末の正しい使い方について、家庭と連携を図りながら計画的な指導を行う準 備。	A・B・C
	17	万引・喫煙・暴力行為・器物損壊等を未然に防ぐための指導や支援を進めるための準備。	A・B・C

## 年度始めの確認事項

支援体制的な 組織的	18	学校で目指す児童生徒の具体的な姿や生徒指導の重点、生活のきまりなどについて全職員で共通 理解する。	A・B・C
	19	「学校評価アンケート」や「生活アンケート」、「日常的な観察」で把握した児童生徒の実態を 全職員で共通理解する。	A・B・C
いじめ	20	学校いじめ防止基本方針の内容を理解し、その方針に沿って生徒指導を行う。	A・B・C
不登校	21	学校間や学年間で共有した不登校に関する児童生徒の情報から、適切なアセスメントやプラン ニングを行う。	A・B・C